

<p>検証結果の要約</p>	<p>本検証では、妥当性確認・検証ガイドライン(Ver.2.0)を検証基準として、グリーンプラス株式会社が実施する「大館北秋田間伐促進事業 けっぱれ東北！震災復興支援プロジェクト」のモニタリング報告書がプロジェクト計画書(Ver.1.8)、モニタリング計画書(Ver.1.8)、モニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用)(Ver.3.0)及び方法論 R001(Ver4.1)に準拠しているかどうかについて確認した。</p> <p>検証の結果、モニタリング報告書(Ver.1.8)は、J-VER制度におけるプロジェクト計画書(Ver.1.8)等に準拠していることを確認した。また、重要性は、検出された誤りが全て修正されたことで、量的基準(吸収量の5%以内)を満たしていることを確認した。なお、2008年4月1日～2011年7月31日の3年4ヶ月間における本プロジェクトでの吸収量は4,204t-CO₂である。</p> <p>従って、本プロジェクトのモニタリング報告書(Ver.1.8)は無限定適正である。以上により、本プロジェクトの認証をオフセット・クレジット(J-VER)認証運営委員会へ申請することを推奨する。</p>
----------------	---

ⁱ 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。